

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年8月24日
事業者名:	中日本カプセル株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	自社で排出している温室効果ガス (CO2) の排出量を直接排出 (Scope1) と間接排出 (Scope2) に分けて算出してSBT認定を取得 (令和5年8月) し、具体的な目標を掲げて排出量削減に取り組んでいる	⑬気候変動に具体的な対策を、⑫つくる責任 つかう責任、⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに	エネルギー別排出量の5.5%を占めるLPガスをCO2排出量の少ない都市ガスに変更を実施 (基準 令和4年度、CO2排出量1,761.76t)	指標	CO2排出量の削減
				目標	令和12年度までに42.0%削減 (令和4年度比)
社会	地元の高校の職場体験を受入れている	④質の高い教育をみんなに、⑰パートナーシップで目標を達成しよう、⑩住み続けられるまちづくりを	令和4年度、2校受入	指標	地元の高校の職場体験受入件数
				目標	令和9年までに延べ13校受入
経済	当社のメイン事業であるソフトカプセルの製造時にゼラチンの残渣が発生します。今までは産業廃棄物として処分していましたが、ゼラチンに含まれる窒素分を有効活用する検討をした結果、有機肥料の原料として再利用できるようになりました。現在では、使用用途に応じた3種類を県に肥料登録を済ませて、異業種である肥料メーカーに販売することにより再利用率が高まり、産業廃棄物を削減することにより環境への負荷を軽減することができました。	⑰パートナーシップで目標を達成しよう、⑫つくる責任 つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を	令和4年度、再利用率60%	指標	ソフトカプセル製造時に発生するゼラチン残渣の再利用率
				目標	令和9年までに再利用率90%を達成
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている (PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ①重点項目について社内共有を実施。②三側面それぞれの取組みについて担当部署を設定し、目標達成に向けてスケジュールを作成。③経営会議で定期的に進捗状況を確認し、目標達成に向けて適宜修正を行う。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				